

声 VOICE

観光を支える方々の声を寄稿、インタビューを基にお届けします



万博会場から一番近い「世界遺産」・「ホンモノ体験」が皆さまをお迎え

大阪府堺市 観光部長 北口 崇氏

堺市は大阪府の中南部に位置し、府内人口・面積が第2の政令指定都市です。また、府内唯一の世界遺産「吉野・大仏」をはじめとする歴史文化の魅力があふれる都市です。堺市では、この類まれな歴史文化を活かし、仁徳天皇陵古墳が存在する「大仙公園エリア」、「黄金の巨目」とうたわれた中世の面影が残る「環濠エリア」を重点エリアとして、これらエリアを「屋根のないミュージアム」と見立て、取り組みを推進してきました。

堺市の魅力は古墳時代までさかのぼります。古墳築造時に鋳造された土師器、土師器の加工技術が、時に



「関係・つながり」が人と地域を未来につなぐ

日本航空 ソリューション営業本部 関係・つながり創造部 部長 関谷 岳久氏

コロナ禍を経て、人々の移動への見方は大きく変わりました。JALグループの「2025中期経営計画（MPO25）」では移動を通じて「関係・つながり」を生み出し、社会のサステナビリティと人々のウェルビーイングを高めることを重要視しています。移動がもたらす結びつきは、単なる往來にとどまらず、人々の幸福度向上や文化交流の場としての役割を生み出すからです。こうした「移動の質を高めるには、官民連携による空港やインフラの整備、旅行促進に向けた思い切った支援策の実施が不可欠」と考えます。

関谷氏は、空港やインフラの整備、旅行促進に向けた思い切った支援策の実施が不可欠だと考えます。空港やインフラの整備、旅行促進に向けた思い切った支援策の実施が不可欠だと考えます。



「五方よし」の理念で持続可能な未来へ

日本旅行 事業共創推進本部 副本部長 グローバル人材活用推進チーム 馬場 直樹氏

日本旅行は、新たに「グローバル人材活用推進事業」を開始いたしました。旅行業を培ってきたネットワークとノウハウを生かして、今後の日本社会における深刻な労働力不足への対応として、国内の企業や団体にアジア諸国を中心とした人材の紹介・支援を本格的に展開しています。

私たちは、近江商人の精神「三方よし」を現代に昇華させた「五方よし」の理念を掲げています。これは「送り出し国よし（送り出し国の発展と人材育成）」「受け入れ機関よし（企業等の人手確保と組織成長）」「世間よし（地域社会への貢献と多文化共生の促進）」の3つです。



第1期中期経営計画策定 7重点事業を三分類

公益財団法人群馬県観光物産国際協会 理事長 岩崎 真人氏

私の生まれ故郷である群馬県は、温泉・自然・物産、伝統文化など多くの観光資源にあふれ、大きな潜在力を持っています。一方、コロナ禍や人口減少の影響もあり、観光に求める人々の意向、行動は、団体旅行から個人旅行へ、予約は、対面からウェブやSNSなどへ変化し、サービスを提供する側も、人手不足が常態化するなど大きな課題を抱えています。また、最近では気候変動も多岐にわたる影響を及ぼしています。

第1期中期経営計画策定 7重点事業を三分類



誇りと物語が心動かす

DMC天童温泉 旅行事業部 部長 鈴木 誠人氏

「私は経験を売ったんです。これは、全身色づくめがトレードマークの私のソニーに、参加したことを誇りに感じています。高校生の頃、学校を飛び出し、一人で訪れた天童温泉で、旅は投資という価値観を学びました。あの旅がなければ今の自分はありません。旅をきっかけに旅業に入社しましたが、20代半ばは海外を飛び回り、海外で旅業の経験を得ました。転機は、天童温泉の老舗旅館「ほほえみの宿」の設立がきっかけです。DMCの設立がきっかけで、DMCの構想があり、私たちが歩んでいく道があります。



「生涯記憶に残る滞在」をお届け

奈良県外国人観光客交流館 管理者 永井 恵美子氏

当施設は、日本政府観光局（JNTO）より最上位にある「カテゴリー3」に認定された、外国人観光客のための観光案内所で、折の紙や英語の案内板、漢字で書かれたお名前を筆文字で書く、着物やお相模さんの衣装を着せたい、といった無数の日本文化体験が好評です。折り紙や書道、着付けを英語や中国語でサポートするスタッフのおもてなしは「日本を旅行して今日が一番楽しかった」とまで喜ばれています。

「生涯記憶に残る滞在」をお届け

ワクワクできるGUNMAを未来につなぐために

外国人観光客のための観光案内所